遊びをせんとや生まれけむ　戯れせんとや生まれけん　でんでんむしむし　でんでんむしむし

那須・奏身舎　1周年記念オイリュトミー公演

夢みるものたちへ　未来へ　そして

2010年11月3日水曜祝日3時開演（開場２時半）

会場：那須・奏身舎　栃木県那須塩原市鹿野崎175-17

前売り：大人1500円・小人1000円・幼児500円

当日券は500円増

申込み/問合せ：tel/fax:0287-63-4039　携帯　080-5695-4577

e-mail: nasu.sousinsya@snow.plala.or.jp　渋谷（しぶたに）

奏身舎http://www.sousinsya.sakura.ne.jp

第1部3:00~3:30　幼児から大人まで

宮沢賢治『十力の金剛石』より

梁塵秘抄・・太鼓の楽しいリズム、ライヤー、グロッケンのやさしい調べにのせて

『遊びをせんとや生まれけむ』

でんでんむしの踊り　・・・・『舞え舞え蝸牛』

『たんちりをんの月のかげ』

モンポウ『遠くの祭り』

『密やかな音楽』

ドビュッシー『月の光』

〜休憩〜

第2部3:40~4:00　小学生以上対象

ノヴァーリス『夜の讃歌』

バッハ『6つの小さなプレリュード』三番

ブラームス『インテルメッツオ』A dur

オイリュトミー：渋谷智栄子　安齋裕司　ぶどうの会

ピアノ：幼方景子　　照明：横尾勝也

奏身舎が誕生してお陰さまで１周年。
心からの感謝を込め、オイリュトミー公演を開きます。懐かしい調べの平安時代の歌から宮沢賢治、西洋音楽まで、言葉と音楽のきらめく響きとリズムを、流れる動きや色彩とともにお楽しみください。

主催／那須・奏身舎

協力／ぶどうの会・くりの木・とちのみ

オイリュトミーとは？

言葉や音楽には、カラダやココロを内側から活気づけ、調和をもたらすチカラが満ちています。「美しいリズム」という意味のオイリュトミーは、生き生きした音の響きをカラダに満たして動く新しい身体芸術です。

現在、世界各国の芸術、教育、治療の各分野で広がっています

第1部（約30分）は、やわらかなやさしい世界。
宮沢賢治のメルヘンのうたに始まり、太鼓の楽しいリズムや、グロッケン、ライヤーのきらめく響きは、子どもたちに馴染み深い音色です。平安時代の歌「梁塵秘抄」では、６人で渦巻く大きなでんでん虫も登場！カラの中に入ったまま動かぬでんでん虫を、引っ張りだそうと・・・あの手この手で試みます。
スペイン生まれの「ピアノの詩人」モンポウの曲は、どことなく、わらべ歌を思わせる懐かしいメロディーです。
第1部の締めくくりは「月」をテーマにした歌と音楽。
平安時代の歌「たんちりをんの月のかげ」。そして、フランスの作曲家、ドビュッシーの「月の光」。月の光からはいったいどんな響きが聴こえてくるのでしょうか・・・？

第２部（約２０分）は、より本格的なクラシックの世界。
ドイツ・ロマン派のノヴァーリスの詩に始まり、「音楽の父」バッハのプレリュードを２人のオイリュトミストが２声で動きます。
最後のブラームスの「インテルメッツォ」は、ブラームス晩年の円熟した作品。繰り返しによって深まっていくテーマが、とても味わい深い美しい作品です。
（「月の光」と「インテルメッツォ」は、オイリュトミーを創始したR・シュタイナーによるフォルムで動きます。）
第２部では、ちいさなお子様連れの方は、静かな環境でご覧頂けるようにご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

プロフィール：渋谷　智栄子 [chieko shibutani]
オイリュトミスト。東京学芸大学卒。木彫制作や美術教師としての造形活動を経て95年オイリュトミー・シューレ天使館第１期卒業。東京、宇都宮、那須塩原で幼児から大人までのクラスを持つ。また、ハンディを持った子どもたちへのオイリュトミー指導にも携わる。一般参加型の舞台や朗読劇での音楽演奏など多方面に活動している。06年より那須塩原市在住。パートナー安斎裕司と共に、09年秋「那須・奏身舎」設立。地域に根ざした教育・芸術活動を行っている。最近の公演：05年「闇から光へ」「めくらぶどうと虹」06年「十力の金剛石」07、8年「マグノリアの祈り」

■アクセス：東北新幹線　那須塩原駅より車で１０分。　　東北自動車道　黒磯板室ICより車で3分53号をアウトレットから塩原方面へ直進２分。宇都宮共和大看板右折。最初の十字路左角。